














同種末梢血幹細胞採取を受けられる 様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

P 1 / 2

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日		採取前々日
目標	幹細胞採取について理解する 不安が最小限で落ち着いている 白血球を増やす注射による副作用（腰痛・関節痛など）が自制内で経過する		幹細胞採取について理解する 不安が最小限で落ち着いている 白血球を増やす注射による副作用（腰痛・関節痛など）が自制内で経過する カテーテル挿入中の注意点が理解できる
検査	 血液検査を行います。		検査は適宜行います。
食事	朝食は 自宅で	    	  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧を測定します リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		 足の付け根（鼠径部）からカテーテルを挿入する場合があります 足を深く曲げる動作は控えてください
点滴・内服	 白血球を増やすお薬を皮下に注射します ※この注射で腰や関節が痛くなることがあります。痛み止めをお渡ししますので看護師にお知らせください		
行動	 制限はありません  シャワーできます		 カテーテルを入れる前にシャワーを済ませてください  カテーテル挿入後は、病棟内でお過ごしください (トイレや洗面以外はできるだけ歩き回らないようにお願いします)
説明	 医師より説明 ・入院治療計画と幹細胞採取について  看護師より説明 ・入院生活について ・幹細胞採取オリエンテーションについて		

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日			
経過	採取 1 日目		採取 2 日目		退院/採取予備日	予備日程での退院	
目標	幹細胞採取について理解する 不安が最小限で落ち着いている 白血球を増やす注射による副作用（腰痛・関節痛など）が自制内で経過する カテーテル挿入中の注意点が理解できる				カテーテル抜去部からの出血がない 疼痛が自制内で経過する		
検査							
食事							
処置・観察	採取は()時から始めます 約3時間かかりますが、その間はベッド上安静です 採取中は手足や唇のしびれや寒気がすることがあります 症状があればお知らせください		2回の採取を行います 採取終了後にカテーテルを抜きます。抜いた後は出血しやすいので圧迫止血を行います。止血確認後に消毒してガーゼで止めます		退院時にリストバンドを外します		
点滴・内服	採取中のしびれを予防する点滴をします（透析センターで）		採取中のしびれを予防する点滴をします				
行動	トイレをすませて、検査着に着替えてください。 車椅子で透析センターへ移動します。		車椅子で透析センターへ移動します カテーテル抜去後3時間はベッド上で安静にしてください 止血が確認できれば歩行できます		退院前にガーゼを外します		
説明	足の付け根に入れたカテーテルから血液中の白血球を集めます この中に造血幹細胞が多く含まれています 採取中にトイレに行きたくなった場合は、ベッド上で看護師が介助します 飲み物やあめ、携帯電話や音楽 プレイヤーを持参していただいてもかまいません				退院後は入浴できます 退院後、カテーテルを抜いたところの腫れや痛みが続いたり、熱が出たりしたらいつでも受診してください		